

◆ 第6回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中心市街地まちづくり戦略の振り返り (2) 令和2年度の活動 (3) 中期のまちの姿の実現に向けて (4) 今後の取組 (5) 検討事項 5 意見交換 6 閉会 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>委員の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共空間再編整備計画や都市空間デザインガイドライン、これらに関連する社会実験等を上手くつないでいくことが重要である。それぞれの取組が連携を図ることができるような検討の仕組みや庁内の体制づくり等を検討してほしい。 ● ヒトのための空間をつくるだけでなく、市民にその空間を使うことに慣れてもらい、実際に活用してもらうための取組が必要になる。 ● 交通事業者として現状の交通施設規模を中期においても維持したい想いもあるが、自動運転技術の動向や公共交通を取り巻く環境の変化を踏まえて、ヒト中心の駅前広場を目指すということであれば、地域に根差し、誇れるものとなるように協力させていただく。 ● これからは駅も新しい時代に向けて生まれ変わらないと人を惹きつける魅力を生み出すのは難しいと思うので、例えば5Gの普及など、駅が新しい情報の拠点となると良い。 ● 自動車を利用して中心市街地に来る人も多数いると思うので、ヒト中心の空間を目指すうえでは、来訪者がどこの駐車場に停め、どのような行動をとるのかなど、駐車場に関する検討も必要になる。 ● 駅周辺は買い物や観光だけではなく、社会参画の場としてもとても重要である。 ● 公共空間の再編は概ね5～10年後を見据えた計画とのことであるので、若い世代の意見も聞きながら検討を進めていくことも重要である。 ● 社会実験を市民の関心を醸成するための場として、また、一緒にまちなかを再生する仲間づくりのための場として有効に活用してほしい。 ● 空間特性分析において、(都) 沼津駅沼津港線の東側エリアの値が低いことは課題であると感じる。駅前広場が沼津の中心として機能するためには、民間の土地における低層部の活用も含めて、このエリアとどのように繋げていくのが重要である。 <p style="text-align: right;">以上</p>